

留学体験レポート

21016052 珊瑚怜奈

私は韓国に4か月間の留学をした。その4か月間を振り返っていくつかのことを書いていきたいと思う。

まず、食である。韓国にはイメージ通り辛い料理がたくさんあった。私は辛い物は少し苦手だったが、辛い料理は食べていくにつれて徐々に食べられるようになった。そして韓国には辛い食べ物だけでなく、日本食のお店もたくさんあった。だから、たまに日本食を食べたいと思ったときはそのような日本食のお店へ食べに行った。そして量が多く、値段も安いので外食することが多かった。そして韓国はカフェがたくさんあった。韓国では日本よりコーヒーを片手に歩いている人が多く、カフェも多かった。そして試験前になるとカフェで勉強している学生が多かった。そして、ほとんどのカフェにWi-Fiがあるので、カフェに行き携帯を使ったり、勉強したりと便利な場所だった。外出した時にいろいろなカフェに入ってみるのも楽しかった。

2つ目は交通である。ソウルでは地下鉄が発達していて移動はほとんど地下鉄でしていた。韓国にはT-moneyという日本でいうSuicaのような交通カードがあり、それを使うと楽なので使っていた。日本よりも区間料金が細かくないので、安い料金でどこでも行くことができた。日本では電車でお年寄りや体の不自由な人がいなければ優先席に座る人も多いが、韓国ではそのような人がいなくても優先席に座っている人がいなくて、親切な人が多いと感じた。そして韓国は日本よりも車やバイクの運転が荒い人が多く、道を歩いているときも注意が必要であった。たまに道を歩いているとセグウェイのような乗り物に乗っている人もいて面白かった。

3つ目は観光地である。韓国は都会の中にも歴史的建造物が混在していて、景福宮のような宮廷などがあってアクセスが楽だった。入場料金も高くなく1000ウォンぐらいだった。場所によっては日本語でガイドしてくれるところもあった。

4つ目は出会った人達である。この留学を通して多くの出会いがあった。まず、トウミである。私のトウミは日本語がとても上手な人で、学習面でサポートしてくれたり、色々な所に連れて行ってくれたりととても親切にしてくれた。この留学が充実したものだったのもトウミのサポートがあったからだと思う。次にクラスメイトである。クラスには様々な国籍の人達がいた。最初は仲良くなれるのか心配だったが、毎日の学習や現地学習を通して親しくなることができた。クラスメイトとご飯を食べに行ったり、現地学習の時同じ部屋で過ごしたりしたことはとても心に残っている。

このように留学した4か月間は語学だけでなく、様々な経験ができた濃い4か月間であった。最後にこの留学中に関わった先生やトウミ、クラスメイトなど多くの人達に感謝したい。